

令和5年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
多角化経営部門

誰もが働きやすく成長できる組織づくりと多様な柑橘の栽培

○氏名又は名称 株式会社 ニュウズ（代表 土居 裕子）

○所在地 愛媛県西宇和郡伊方町

○出品財 経営（働き方改革）

○受賞理由

・地域の概要

伊方町は、四国の最西端にある佐田岬半島の基部から先端に位置し、全体が細長い形状である。年間の平均気温は約16℃で、年中温暖な気候であるが、夏場は30℃を超える日がある一方、冬場は氷点下になり、積雪を観測することもある。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

株式会社ニュウズの創業者は現代表の父であり、昭和53年に法人を設立した。現代表である裕子氏は平成16年に経営を引き継ぎ、機械化が難しい条件不利地での作業効率化や、自身の経験をもとにした働きやすい労働環境の整備などにより、会社を発展させた。作期が異なる多様な柑橘品種を栽培することで繁忙期を分散させ、周年雇用を実現した。自社で商品開発・販売までを行い、多様な販路を確保することで、顧客ニーズに応じた生産や販売を可能にし、台湾への輸出にも取り組んでいる。

・受賞者の特色

（1）顧客ニーズに応じた生産・販売の実現

旬の柑橘や自社で開発したジュース、ゼリーなど様々な商品を販売している直営ショップで顧客ニーズを把握し、その情報を各部署で共有することで、生産・加工・商品開発・販売に生かしている。また、国内だけでなく、平成13年に前代表が台湾に現地法人を立ち上げ、「世界一美味しいみかんの幸せを」をコンセプトに自社園地で栽培した柑橘や加工品を販売している。

（2）誰もが働きやすく成長できる組織づくり

定期的な個人面談や評価制度の導入により、各スタッフの夢・目標を実現するための会社のサポート体制・本人のアクションプランを確認するほか、スタッフが設定した個人目標の達成度を評価して賞与・昇給に反映させるなど、スタッフ・組織双方の成長を実現している。また、採用時には繁忙期の勤務実態を示した上で、採用後のライフステージの変化に応じて、女性スタッフでも仕事を継続できるよう、配置転換や勤務時間の変更等にも柔軟に対応している。

・普及性と今後の発展方向

雇用機会が少なく過疎化が進む半島地域において、地域の若者や女性を積極的に雇用することで地域活性化に繋げている。今後は、次代を担う子どもたちへの食農教育活動等を通して、食料自給率向上や食品ロス対策、農業の後継者不足問題などに取り組み、農業の魅力をさらに発信し続けていきたいと考えている。